

# 『『真の豊かさ』にあふれ、世界に貢献し、信頼される『グリーン成長都市』』を目指して

福岡県北九州市（2018年度選定）

## 1. 地域の特徴と課題及び目標

本市は、本州と海を挟んだ九州の玄関口に位置しており、主な国道や鉄道の「九州の起点」になっていることから、交通や物流の利便性に優れている一方、人口減少や高齢化、産業構造の変化といった「将来の日本の大都市が抱える課題」に一足早く直面している。  
ものづくりの技術や公害克服の経験など、本市の強みを生かし、経済・社会・環境の統合的な取組み（課題解決モデル）を発信・展開し、課題解決を図ることで、『『真の豊かさ』にあふれ、世界に貢献し、信頼される『グリーン成長都市』』を目指す。

## 2. 関連するゴール



## 3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

『『真の豊かさ』にあふれ、世界に貢献し、信頼される『グリーン成長都市』』を、2030年のあるべき姿として、北九州市のSDGs戦略（ビジョン）に掲げ、この実現に向けて、具体的な5つのまちの姿（①「社会課題解決につながる『持続可能なビジネスが生まれ、育つまち』」、②「ダイバーシティの推進による『みんなが活躍できるまち』」、③「SDGsを踏まえた教育の実践による『未来の人材が育つまち』」、④「環境と経済の好循環による『ゼロカーボンシティを目指すまち』」、⑤「アジア諸都市を中心とした『世界のグリーンシティをけん引するまち』」）を示し、産学官民一体となって自律的好循環を目指す。

## 4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

- ◆普及啓発  
出前講演などにより、SDGsの認知を促進し、本市の取組みを発信。
- ◆成功事例創出のための取組  
「北九州SDGsクラブ」のプロジェクトチーム創出や、「北九州SDGs未来都市アワード」を実施し、市民団体や企業・計5団体を表彰。
- ◆未来人材の育成  
高校生の探究学習の成果発表の場を提供
- ◆SDGs経営の普及  
SDGs経営の可視化を図る登録制度や、企業のSDGsに関する先進的な取組への補助金制度の効果的な運営に加え、SDGコンパスの考え方を取り入れた独自の「認証制度」を試験的に運用

## 5. 取組推進の工夫

これまで、「北九州SDGsクラブ」によるSDGsの活動の促進や、「高校生SDGs選手権大会」「北九州SDGs未来都市アワード」による未来人材の育成等を通じ、SDGsに主体的に取り組む機運の醸成に努めてきた。こうした活動を更に発展させ、多様な主体によるSDGsの実践を進めるためのプラットフォームとして「北九州SDGsステーション」を運営し、SDGsに関する相談、ワークショップ、イベント、情報発信等を行っている。

## 8. 他地域への展開状況 (普及と効果)

「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム総会」での事例発表。オンライン等を活用した出前講演（12件）、視察受入（5件）、SDGsクラブ会員へのメルマガによる情報発信など。

## 6. 取組成果

- ◆市民の認知度の向上 市民アンケート調査…91.1%（昨年度90.6%）
- ◆優先的なゴール、ターゲットに関するKPI  
・再生可能エネルギー導入量 2018年:288,000kW → 2023年:442,906kW  
・付属機関等の女性委員の参画率 2018年:50%以上→2023年:51.7%  
・市民一人1日あたりの家庭ごみ量 2019年:468g→2023年:433g
- ◆地域活性化への貢献  
「北九州SDGsクラブ」において、①会員同士の連携による地域課題解決に向けた市民主体の「プロジェクトチーム」が多数発足 ②21の金融機関と連携した市内企業支援のための「SDGs経営サポート」や、地域での主体的な防災活動を促進するため企業・団体8者と連携した「SDGs防災サポート」といった支援メニューを準備・提供。  
【2024年3月末クラブ会員数:2,255(内訳)企業:1,171/団体:275/学校:249/市民:560】

## 7. 今後の展開策

洋上風力発電等のエネルギー、ロボット、自動車、DXなど、本市の「ものづくり技術」等を活かし、経済・社会・環境を統合的に解決できる産業を創出し、地域経済の活性化、ブランド構築や市民のQOL向上を目指す。また、これまでのSDGs推進の取組を進めるとともに、地域の社会経済を支える基盤となる中小企業のSDGs経営の普及を図るため、SDGsのリーディング企業の創出拡大に取り組み、市内の中小企業を牽引することによって、企業の競争力を底上げし、SDGsを原動力とした地方創生の達成を目指す。

# SDGs未来都市進捗状況結果報告シート

2018年度選定

福岡県北九州市

2024年9月

SDGs未来都市計画名

北九州市SDGs未来都市計画(2021-2023)

## 福岡県北九州市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

## (1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2023年	2030年（目標値）	達成度 （%）	第3期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	従業者一人あたり市内GDP（名目） 【8.2、9.4】	2016年 8,481 千円	2016年 8,481 千円	2030年 9,320 千円	-	引き続き基本構想・基本計画で進捗を確認していく【市内GDP（名目）】。
2	再生可能エネルギー導入量 【7.2、9.4、13.2】	2018年7月 288,000 kW	2023年 442,906 kW	2030年 700,000 kW	38%	基本計画に基づく分野別計画で進捗確認を検討中。
3	市民の健康寿命（男性）【3.d】	2016年 71.93 歳	2019年 ※最新値 71.94 歳	2030年 ※2028年値 今後検討	増加	引き続き基本構想・基本計画で進捗を確認していく。
4	市民の健康寿命（女性）【3.d】	2016年 74.01 歳	2019年 ※最新値 75.63 歳	2030年 ※2028年値 今後検討	増加	引き続き基本構想・基本計画で進捗を確認していく。
5	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合（小学生） 【4.7】	2019年 94.4 %	2023年 95.7 %	2030年 全国 平均 以上	増加	2030年の目標に向けて順調に進捗しており引き続き基本計画に基づく分野別計画（北九州市生涯学習推進計画）で進捗を確認していく。
6	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合（中学生） 【4.7】	2019年 94.5 %	2023年 94.4 %	2030年 全国 平均 以上	増加	2030年の目標に向けて順調に進捗しており引き続き基本計画に基づく分野別計画（北九州市生涯学習推進計画）で進捗を確認していく。
7	北九州市の付属機関等の女性委員の参画率【5.5】	2020年7月 付属機関 等の女性委員 参画率が 平均で 50%を超え ている (53.1%)	2023年 付属機関 等の女性委員 参画率が 平均で 50%を超え ている (51.7%)	2025年 付属機関ご とに男女比 率の均等を 目指し、全 体で50% 以上を目指 す	103.4%	基本計画に基づく分野別計画で進捗確認を検討中。
7	北九州市の付属機関等の女性委員の参画率【5.5】	2020年7月 付属機関 等の女性委員 参画率が 平均で 50%を超え ている (53.1%)	2023年 付属機関 等の女性委員 参画率が 平均で 50%を超え ている (51.7%)	2030年 維持	-	基本計画に基づく分野別計画で進捗確認を検討中。
8	社会動態の増減【11.3】	2020年 ▲757 人	2023年 ▲206 人	2030年 社会動態 プラスの早 期達成及 び維持	増加	2030年の目標に向けて順調に進捗しており引き続き基本計画で進捗を確認していく。
9	公共施設再エネ100%電力化達成率 【7.a、9.4、13.1】	2021年3月 0 %	2023年 32 %	2025年 100 %	32%	現状反映していない。
9	公共施設再エネ100%電力化達成率 【7.a、9.4、13.1】	2021年3月 0 %	2023年 32 %	2030年 維持	-	現状反映していない。
10	市民1人一日あたりの家庭ごみ量 【11.6、12.5】	2019年 468 g	2023年 433 g	2030年 策定中	減少	基本計画に基づく分野別計画で進捗確認を検討中。
11	温室効果ガス排出の削減率（2005年度比）【13.3】	2017年度 ▲1.6 %	2023年 未算定 (R8年 度算定 予定)	2030年 策定中	-	引き続き基本構想・基本計画に紐づく分野別計画（北九州市地球温暖化対策実行計画）で進捗を確認していく【市域全体の温室効果ガス排出量】。
12	再生可能エネルギー導入量 【7.2、9.4、13.2】（再掲）	2018年7月 288,000 kW	2023年 442,906 kW	2030年 700,000 kW	38%	基本計画に基づく分野別計画で進捗確認を検討中。

## 福岡県北九州市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

## (2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)	第3期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
1	①先進のまちを目指した新たなビジネスやイノベーションの創出	再生可能エネルギー導入量	2018年7月 288,000 kW	2023年 442,906 kW	2023年 470,000 kW	85%	基本計画に基づく分野別計画で進捗確認を検討中。
2	①先進のまちを目指した新たなビジネスやイノベーションの創出	起業件数（創業件数）	2019年 317 件	2023年 387 件	2023年 340 件	304%	2023年の目標を達成しており、引き続き基本計画に基づく分野別計画（北九州市産業振興未来戦略）で進捗を確認していく。
3	②地域経済における自律的好循環の形成	従業者一人あたり市内GDP	2016年 8,481 千円	2016年 8,481 千円	2023年 今後検討	-	引き続き基本構想・基本計画で進捗を確認していく【市内GDP（名目）】。
4	②地域経済における自律的好循環の形成	市内新規雇用者数	2015年～2019年 22,628 人	2020年～2023年 25,936 人	2020年～2024年 30,000 人	45%	現状反映していない。
5	②地域経済における自律的好循環の形成	市内企業への新卒就業者数	2019年 4,106 人	2023年 4,068 人	2024年 4,600 人	-8%	現状反映していない。
6	②地域経済における自律的好循環の形成	温室効果ガス排出量の削減率（2005年度比）	2017年 ※2005年基準 ▲1.6 %	未算定（R8年度算定予定） 2023年	2023年 今後検討	-	引き続き基本構想・基本計画に紐づく分野別計画（北九州市地球温暖化対策実行計画）で進捗を確認していく【市域全体の温室効果ガス排出量】。
7	②地域経済における自律的好循環の形成	実質公債費比率	2019年 9.9 %	2023年 10.1 %	2023年 今後検討	-	現状反映していない。
8	②地域経済における自律的好循環の形成	将来負担比率	2019年 170.8	2023年 143.2	2023年 今後検討	-	現状反映していない。
9	③働く場の地方分散・柔軟な働き方の普及	社会動態の増減	2020年 ▲757 人	2023年 ▲206 人	2030年 社会動態プラスの早期達成及び維持	-	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き基本計画で進捗を確認していく。
10	③働く場の地方分散・柔軟な働き方の普及	「北九州市に住んでよかった、ずっと住みたい」と答えた市民の割合	2020年 82 %	2023年 84.1 %	2024年 90 %以上	26%	2024年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き基本計画で進捗を確認していく。
11	④新たな企業価値を生み出すSDGs経営の普及	（仮称）SDGsパートナーシップ制度登録企業数	0 社	2023年 648 社	2023年 300 社	216%	現状反映していない。
12	④新たな企業価値を生み出すSDGs経営の普及	市民のSDGs認知度	2020年 44.9 %	2023年 91.1 %	2023年 毎年増加	-	現状反映していない。
13	①ダイバーシティの推進等による誰もが活躍できる場の創出	保育所持機児童数	2020年3月 0 人	2023年 0 人	2023年 0 人	-	2023年の目標を達成しており、引き続き基本計画に基づく分野別計画（元気発進！子どもプラン）で進捗を確認していく。
14	①ダイバーシティの推進等による誰もが活躍できる場の創出	女性就業率	2015年 70 %	2022年 79.8 %	2023年 73 %	327%	2023年の目標を達成しており、引き続き基本計画で進捗を確認していく。

## 福岡県北九州市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)	第3期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
15	①ダイバーシティの推進等による誰もが活躍できる場の創出	北九州市の附属機関等の女性委員の参画率	2020年7月 附属機関等の女性委員参画率が平均で50%を超えている(53.1%)	2023年6月 附属機関等の女性委員参画率が平均で50%を超えている(51.7%)	2023年 附属機関ごとに男女比率の均等を目指し、全体で50%以上を目指す	-	引き続き基本計画に基づく分野別計画（北九州市生涯学習推進計画）で進捗を確認していく。
16	①ダイバーシティの推進等による誰もが活躍できる場の創出	女性管理職比率（市職員）	2019年 13.1 %	2023年 17.8 %	2023年 15.0 %	247%	引き続き基本計画に基づく分野別計画（北九州市生涯学習推進計画）で進捗を確認していく。
17	①ダイバーシティの推進等による誰もが活躍できる場の創出	北九州イクボス同盟加盟企業数	2021年3月 170 社	2024年3月 315 社	2023年 300 社	112%	現状反映していない。
18	①ダイバーシティの推進等による誰もが活躍できる場の創出	福祉施設から一般就労への移行	2019年 229 人	2023年 325 人	2023年 255 人	369%	2023年の目標を達成しており、引き続き基本計画に基づく分野別計画（北九州市障害者支援計画）で進捗を確認していく【就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者数】。
19	②市民参加型の活動による生活の質（QOL）の向上	世代別の地域活動参加率	2020年 42.1 %	2023年 29.7 %	2023年 今後検討	-	引き続き基本計画に基づく分野別計画（北九州市生涯学習推進計画）で進捗を確認していく。
20	②市民参加型の活動による生活の質（QOL）の向上	人口1人当たりの刑法犯認知件数（刑法犯認知件数/総人口）	2019年12月 6,127 件	2023年 6,044 件	2024年 4,500 件以下、政令市ベスト3	5%	2024年の目標に向けて、引き続き基本計画に基づく分野別計画（元気発進！子どもプラン）で進捗を確認していく。
21	③市民の健康（幸）寿命の延伸	健康寿命（男性）	2016年 71.93 歳	2019年※最新値 71.94 歳	2023年 今後検討	-	引き続き基本構想・基本計画で進捗を確認していく。
22	③市民の健康（幸）寿命の延伸	健康寿命（女性）	2016年 74.01 歳	2019年※最新値 75.63 歳	2023年 今後検討	-	引き続き基本構想・基本計画で進捗を確認していく。
23	③市民の健康（幸）寿命の延伸	1人あたり公園面積	2020年 12.63 m <sup>2</sup>	2023年 13.17 m <sup>2</sup>	2023年 今後検討	-	引き続き基本構想・基本計画に紐づく分野別計画（北九州市緑の基本計画）で進捗を確認していく
24	④変革を支え、リードする教育・人材育成の推進	「子育てしやすいまち」と感じる市民（子育て世代）の割合	2019年 88.6 %	2023年 87.8 %	2024年 90 %以上	-57%	現状反映していない。
25	④変革を支え、リードする教育・人材育成の推進	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合（小学生）	2019年 94.4 %	2023年 95.7 %	2023年 全国平均以上	-	引き続き基本計画に基づく分野別計画（北九州市生涯学習推進計画）で進捗を確認していく。
26	④変革を支え、リードする教育・人材育成の推進	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合（中学生）	2019年 94.5 %	2023年 94.4 %	2023年 全国平均以上	-	引き続き基本計画に基づく分野別計画（北九州市生涯学習推進計画）で進捗を確認していく。
27	⑤感染症に対応した安心して暮らせる社会の構築	感染症予防研修会参加施設数	2019年 441 施設	2023年 368 施設	2023年 今後検討	-	現状反映していない。
28	①脱炭素エネルギーの安定的な供給体制の構築	公共施設再エネ100%電力化達成率	2021年3月 0 %	2023年 32 %	2025年 100 %	32%	現状反映していない。

## 福岡県北九州市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)	第3期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
29	②市民・企業との協働による循環システムの構築	市民1人一日あたりの家庭ごみ量	2019年 468 g	2023年 433 g	2023年 今後検討	-	基本計画に基づく分野別計画で進捗確認を検討中。
30	②市民・企業との協働による循環システムの構築	ごみのリサイクル率（かん・びん・ペットボトルなど）	2019年 28.0 %	2023年 27.2 %	2023年 今後検討	-	引き続き基本計画に基づく分野別計画（北九州市循環型社会形成推進基本計画）で進捗を確認していく。
31	③コンパクトなまちの形成によるストック型社会の創造	空き家率	2018年 15.8 %	未算定（R6年9月頃算定予定）	2023年 今後検討	-	現状反映していない。

## （3）第2期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括

## ●特筆すべき事業内容

- ①(1)No2.再生可能エネルギー導入量、No9.公共施設再エネ100%電力化達成率
- ②(1)No8.社会動態の増減
- ③(1)No10.市民1人一日あたりの家庭ごみ量
- ④(2)No5.市内企業への新卒就業者数
- ⑤(2)No24.「子育てしやすいまち」と感じる市民（子育て世代）の割合
- ⑥(2)No31.空き家率

## ●成果

- ①計画通りに進んでいる。
- ②当初値（2020年）と比較して、2022年には+709人、2023年には+551人と社会動態が改善された。
- ③令和5年10月にプラスチックの一括回収を開始するなどの施策に取り組んだ結果、市民1人一日あたりの家庭ごみ量は順調に減少している。ごみのリサイクル率についても、プラスチック一括回収等の取り組みにより、前年度より上昇となった。
- ④合同会社説明会やインターンシップ、バスツアー等を実施した結果、毎年4,000人以上が市内企業に就業している。
- ⑤令和3年度調査：89.2%、令和4年度調査：90.5%、令和5年度調査：88.7%と、多少の増減はあるが、概ね90%近くで推移している。
- ⑥北九州市空家等対策計画や北九州市空家条例に基づきながら、空き家の「発生予防啓発」や「活用促進」、「老朽空き家の除却等の促進」の3本柱で取り組み、空き家の解消に寄与している。

## ●課題

- ①民間の石炭・バイオマス混焼発電所が専焼化されることや洋上風力の設置等により導入量は増える見込み。
- ②依然として目標に掲げた「社会動態プラス」は達成できていない。
- ③当初値と比較すると、古紙流通量の減少などにより低下している。
- ④企業の採用意欲が高く、売り手市場が続く中、就職活動の早期化が進んでいるほか市内企業の魅力が十分に学生に届いておらず、市内就職につながっていない点が課題である。
- ⑤子育て支援施策について知ってもらうため、情報発信を更に進める必要がある。
- ⑥人口減少や高齢化に伴い、今後も空き家の増加が見込まれる。

## ●今後の展望

- ①引き続き、公共施設での第三者所有方式による太陽光パネルの導入等に取り組んでいく。
- ②経済成長の実現、都市のイメージアップ、若い世代への支援・定着促進等により、引き続き社会動態のプラス幅の拡大に取り組んでいく。
- ③引き続き広報、啓発などの取り組みにより上昇を図る。
- ④市内企業の採用活動を積極的に支援するとともに市内外の学生を対象に市内企業への理解を深めるイベントを開催するなど、広く市内就職促進の取組を進めていく。
- ⑤目標の90%以上を達成できるよう、今後も子育て支援施策を着実に実施し、情報発信を図っていく。
- ⑥令和5年12月に空き家対策特別措置法が改正され、所有者責務の強化のほか、空き家の「活用拡大」、「管理の確保」、「特定空家の除却等」の3本柱で対応を強化することとなった。空き家対策をさらに充実させ、着実に取組を進めていくこととしている。

## （4）有識者からの取組に対する評価

- ・貴市のSDGs未来都市計画では、市の行政分野全体をカバーする広範な領域におけるKPIを設定しており、その進捗状況も市の基本構想や基本計画に位置付けられていることから、その実施は確実に進捗状況が検証される仕組みとなっている。
- ・三側面の統合的な取組が進展し、着実に成果が出ている。国際的にも横展開している。SDGs未来都市のひとつのモデルと思われるが、人々が住みたいまちになっていないのはなぜか、検討してほしい。